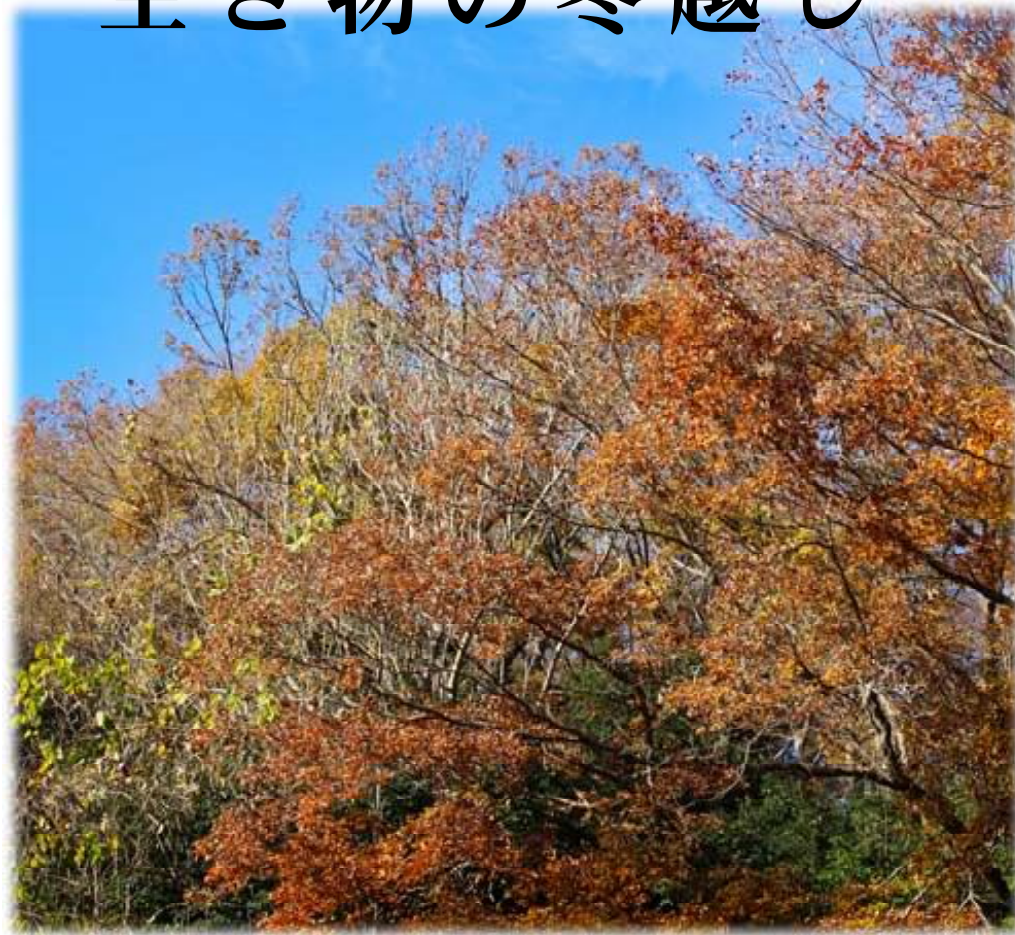


生き物の冬越し



こどもの森の12月はまだ紅葉がきれいです。
紅葉は冬を迎える準備。虫たちにとっては冬越しの季節です。

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻87号

写真 ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atugikodomonomorikurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>

2023年12月16日(土)

主催 あつぎこどもの森クラブ

このパンフレットのバックナンバーは右QRコードからダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>



冬の昆虫①



ハラビロカマキリの卵

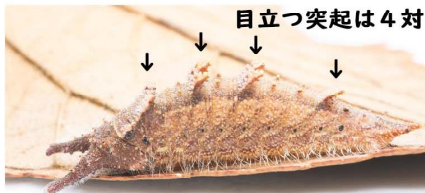


カマキリの卵



オオカマキリの卵

春になると数百匹の幼虫が孵化しますが、成虫になれるのはごく僅かです。



目立つ突起は4対

オオムラサキ幼虫の越冬
越冬中は顔を下に向けています。



目立つ突起は3対

ゴマダラチョウ幼虫の越冬



3ミリほどの雪虫

雪虫の正体は、翅を持つアブラムシの1種、ワタムシです。寄生する植物ごとに異なる種類のワタムシがあります。時折大発生することがあります。

冬の昆虫②



ネグロミノガ幼虫 3ミリ
成長すると2センチほどの細長いミノムシになります。



クサカゲロウの1種の幼虫 3ミリ
肉食の昆虫です。相手の死骸や脱皮柄などを背負います。



コミミズク幼虫 5ミリ ヨコバイ科
冬の手すりによく見かけます。体色は黄、緑、赤、茶などで、枝に張り付いて擬態しています。



フタスジヒラタアブの幼虫 1センチ

成になると、花の蜜を吸います
※写真は別の種類のヒラタアブ



コミミズクを襲って食べる



ゴマフリドクガ幼虫を襲って食べる

最近のこどもの森公園

12/9

冬でも彩りを見せる植物、元気に活動している虫がいました。



ムラサキシキブ 実



キチジョウソウ



アザミオオヒゲナガ
アブラムシ

落ち葉の図鑑

足もとにはたくさんの落ち葉があります。
どの木から落ちたのでしょうか。



コナラ



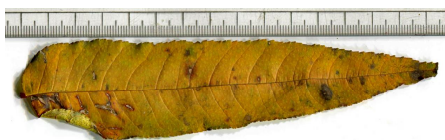
クヌギ



エノキ



イヌシデ



カラスザンショウ 小葉



ホオノキ



クズ 小葉



サンショウ



ミズキ



クワ



イロハモミジ



イタヤカエデ



アオツツラフジ



キブシ



ミツバアケビ



キバギ

森を作ろう 仲間を募集

ムササビの道脇にクヌギやコナラなどの植樹をします。
協力して下さる方募集中
2024年1月13日(土) 13:00から
(予備日) 2月17日(土)



左の写真はムササビの道入口付近で育つ林の様子です。

この林は2018年11月こどもの森フェスタ参加したみなさんが苗を植えたものです。

植えた直後が下の写真です。



5年でこんなに育ちました。

この後の斜面はまだ荒地のままです。ここをみどりの森にしたいと思っています。

森はCO₂吸収源として地球温暖化を防ぐはたらきをします。またクヌギやコナラから出る樹液にはオオムラサキやカブトムシが集まるので楽しい場所にしてくれます。



カントリーヘッジ

伐採した木の枝など柵状に並べるものをいいます。ここは虫たちの冬越しの場にもなります。里山林などで林内の廃棄物を有効利用して、生物多様性を高める手法の一つです。こどもの森の中では柵にはしていませんが機能は同じです。

こどもの森ガイドウォーク(自然観察)原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料どなたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥 ← 次回
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花		

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時

